

2022年5月19日
日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2022年5月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、感染症の影響による弱さが一部に残るものの、緩やかに持ち直している。

最終需要面をみると、個人消費は、飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。観光は、引き続き厳しい状況にあるものの、持ち直している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。公共投資は高水準で推移している。設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

生産は緩やかな増加基調にある。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに広がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。消費者物価指数は前年を上回った。

先行きについては、感染症の動向のほか、エネルギー価格・原材料コストの上昇、供給制約、ウクライナ情勢等が、企業収益や個人消費に及ぼす影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。財消費は堅調に推移している。サービス消費は感染症の影響が残るものの、改善している。

3月の商業動態統計は、前年並みとなった。4月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、引き続き厳しい状況にあるものの、持ち直している。

3月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

3月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、高水準で推移している。

4月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

2022年度の設備投資（2022年3月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

3月の建築物着工床面積は、前年を上回った。

2. 生産

生産は、緩やかな増加基調にある。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは増加基調にある。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。大手・中堅造船は、横ばい圏内で推移している。中小造船は、更新需要等を背景に高操業が続いている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに広がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

3月の有効求人倍率は、1.19倍となった。2月の雇用者所得は、前年を下回った。

4. 物価

3月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

5. 金融

3月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

4月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回 (2022年4月公表分)	今回 (2022年5月公表分)
景気全体 (引き上げ) (6か月ぶり)	感染症の影響による厳しさが残る中、持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。	<u>感染症の影響による弱さが一部に残るものの、緩やかに持ち直している。</u>
個人消費 (引き上げ) (6か月ぶり)	飲食を中心に弱さが残り、全体として持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。	<u>飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。</u>
観光 (引き上げ) (2か月連続)	依然として低い水準ながらも、改善している。	<u>引き続き厳しい状況にあるものの、持ち直している。</u>
住宅投資 (据え置き)	持ち直している。	<u>横ばい圏内で推移している。</u>
公共投資 (据え置き)	高水準で推移している。	高水準で推移している。
設備投資 (据え置き)	大型案件が寄与して増加している。	大型案件が寄与して増加している。
生産 (据え置き)	緩やかな増加基調にある。	緩やかな増加基調にある。
雇用・所得 (据え置き)	労働需給は改善の動きに拡がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。	労働需給は改善の動きに拡がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

(注) 下線は、前回からの変更・追加。